

令和 2 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
21111	人間関係論 Theory of Human Relationship	竹重 幸	✓	基礎	2	選択	2年後期
科目の概要							
心理学の講義では、人間の多様性を理解し、さまざまな場面や組織のなかでの人間関係を構築できる思考や、人間関係のトラブルやストレスに対して解決・レジリエンス能力を養成します。日常に関わる人たちの心のはたらきを知ることは必要不可欠です。そこで、自己と他者のこころについて理解を深めることを目指します。①自分を知る②人間関係の構築について③人間関係におけるストレス対処について④働くということ（援助要請力）についてさまざまな心理学の分野から検討します。内容はみなさんの様子を見て進めますので、変更はあります。							
学修内容				到達目標			
① 人間の心理に関する基礎的事項について学ぶ。 ② カウンセリング理論および技法について学ぶ。 ③ 青年期の諸問題とその対応について学ぶ。 ④ 多様な場面での人間関係を築く大切さを知る。 ⑤ 人間関係のトラブルについて解決能力を養成する ⑥ 社会人基礎力を養成する。				① 人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ② カウンセリング理論および技法を説明することができる。 ③ 青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④ 自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤ 人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身につける。 ⑥ 社会人基礎力を養成する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	技術（学習）の習得のために自ら練習することができる。					
	働きかけ力	助けてほしいときに素直に他者に求めること、及び助けることができる。					
	実行力	期限内に最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	ものごとを客観的に捉える力と常に問題意識をもつことができる。					
	計画力	常に期限内に課題を完成させる習慣を身につけることができる。					
	創造力	オリジナリティな思考（発想）をもち、多角的なものの見方ができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく伝えることができる。					
	傾聴力	自己主張だけではなく、人の話を聴くことができる。					
	柔軟性	多様性を理解できること。異なる意見や価値観に対応することができる。					
	状況把握力	自己の課題遂行のみではなく他者性になることができ、協同作業を円滑に進めることができる。					
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	ストレスに対応する方法を知っている。					
テキスト及び参考文献							
決定次第、通知します。							
他科目との関連、資格との関連							
学修上の助言				受講生とのルール			
毎回の講義で少なくとも一つは、情報収集する意識を持って参加してください。 そのために、自分の言葉でまとめる習慣をつけてください（ノートを持ってくる）。				30分以上の遅刻が2回で1回の欠席とします。期限内に課題提出することを徹底します。 （小テスト以上に課題提出を評価します）			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む) 実技・口述試験		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	40	①	✓	①人間の心理に関する基礎的事項を説明できる。 ②カウンセリング理論及び技法を説明することができる。 ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自己と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身につける。
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	50	①	✓	①授業の振り返り ②次週授業の予習 ①②に関するレポートを提示します。 (内容は学生の理解度によって決定します)
				②	✓	
				③		
				④		
				⑤		
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	①出席のルールを守る ・ 6 回以上の欠席は 0 判定となる。 ・ 30分以上の遅刻は、2 回で 1 回の欠席となる。 (30分以内の遅刻は遅刻) ②(実行力) 期限内に最後までやる遂げることができる ③(課題発見力) ものごとを客観的に捉える力と探究心がある ④(創造力) オリジナリティな思考(発想)をもち、多角的なものの見方ができる。 ⑤(発信力) 聞き手にわかりやすく伝えることができる。 ⑥(傾聴力) 人の話を聴くことができる。 ⑦(規律性) 無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ⑧(主体性) 学習の習得のために自ら情報収集することができる	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベル S (秀) 及び A (優) の基準	到達レベル B (良) 及び C (可) の基準
(S) 以下について 9 割以上理解できている。 (A) 以下について 8 割以上理解できている。 ①人間関係の心理に関する基礎を理解・説明できる ②カウンセリング理論および技法を説明することができる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける	(B) 以下について 7 割以上理解できている。 (C) 以下について 6 割以上理解できている。 ①人間関係の心理に関する基礎的事項を説明できる ②カウンセリング理論および技法を説明することができる ③青年期の諸問題とその対応を説明することができる。 ④自分と他者を生かす人間関係の築きかたを理解する。 ⑤人間関係のトラブルを理解し、解決能力を身に着ける

